



世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来


 **ギニア共和国** 



【表紙の写真】

(左上)


いつも陽気で底抜けに明るいギニアの人々

 岩田奈々

(右下)

花嫁のベールの滝

首都コナクリから東に約150kmに位置し、散歩も楽しめる静かな場所となっています。園内には宿泊施設もあり、週末を大自然の中で過ごす外国人客でにぎわっています。「花嫁のベール」の名は、約60mにわたって落下する滝の水しぶきが、花嫁衣装のベールのように美しいことに由来します。

 在ギニア日本大使館

Contents

01 こんな想いを込めました!

02 こんな教材です!

03 なぜギニア共和国?

第1章 ギニアってどんな国?

= 踊る! 歌う! 奏でる!

パワーと魂があふれる国 =

05 ギニアってどんな国?

07 ギニアにまつわるウソ? ホント? クイズ

09 歌おう! 踊ろう! リズミカル ギニア

11 物は少ないけど家族と愛情はいっぱい

13 ちょっとブレイク

~ ギニア料理を作ってみよう! ~

第2章 へえ~! ギニアと日本

15 ギニアと日本 ウソ? ホント? クイズ

17 データで比べるギニアと日本

19 フォトギャラリー ~ ギニアのステキな人々 ~

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

21 ギニアからアフリカを考える! 地球の課題を考える!

23 ちょっとブレイク

~ 1つあれば便利! シアバター ~

第4章 そして未来へ

25 未来を語ろう!

~ 忘れない, 日本の強さと世界の優しさ ~

参考資料

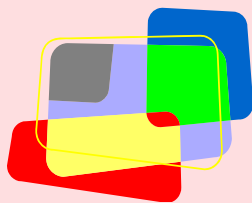
29 目で見るギニア

31 ギニア地図

33 参考文献・データ等の出典

33 ご協力いただいた方

33 2011年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

人の顔が見える教材をつくりたい！

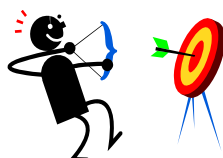
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、ギニアのほんの一面です。本書だけでギニアのすべてがわかるわけではありません。ギニアに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(公財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(公財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。(http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/kyouzai.html)

本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の撮影者です。



なぜギニア共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。そして、ギニア共和国のホームシティは稲沢市でした。



愛知万博 / アフリカ共同館



ギニア共和国

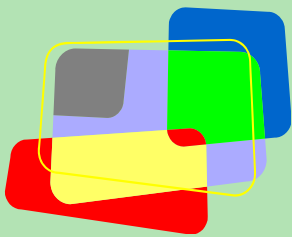
2012年作成 予定国 (38カ国)	アイスランド共和国 アイルランド アルゼンチン共和国 アルメニア共和国 イエメン共和国 ウクライナ エクアドル共和国 オーストリア共和国 カタール国 ギニア共和国 キューバ共和国 ギリシャ共和国 グ アテマラ共和国 クロアチア共和国 コスタリカ共和国 コンゴ民主共和国 サモア独立国 ザンビア共和 国 シンガポール共和国 ジンバブエ共和国 スウェーデン王国 ソロモン諸島 タンザニア連合共和国 チ ェコ共和国 ツバル ドイツ連邦共和国 トンガ王国 ナイジェリア連邦共和国 ニカラグア共和国 パラオ 共和国 バングラデシュ人民共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ブルンジ共和国 ペルー 共和国 マダガスカル共和国 モーリタニア・イスラム共和国 ルーマニア
2011年作成 (22カ国)	インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタ ン共和国 コートジボワール共和国 ジブチ共和国 スイス連邦 スペイン王国 デンマーク王国 ノル ウェー王国 バヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベトナム社会主義共和国 ポーランド共 和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和 国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和 国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和 国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリ ア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシ ャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王 国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人 民ジャマ・ヒーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニューージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和 国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和 国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国

 第1章

ギニアってどんな国？

= 踊る！歌う！奏でる！

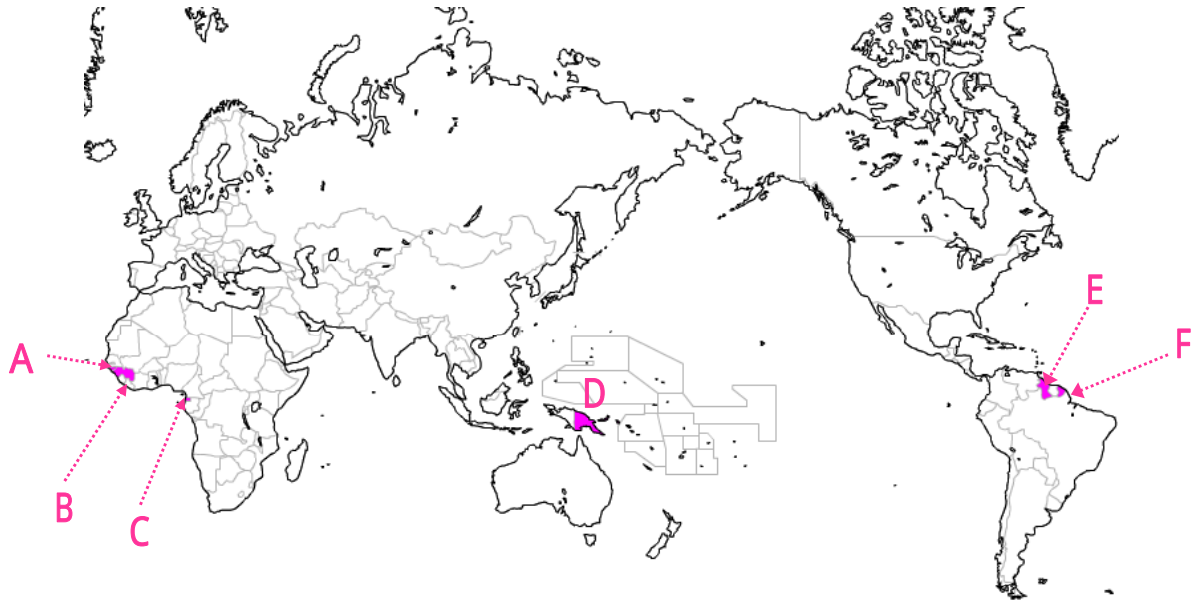
パワーと魂があふれる国 =



ギニアってどんな国？

① 国の名前は聞いたことがあるけれど、ギニアっていったいどんな国なんだろう？

① 世界には、同じような名前の国があります。例えば、ドミニカとドミニカ共和国、コンゴ共和国とコンゴ民主共和国。実は、ギニアも似たような国名の国がいくつかあります。では、下の説明文と国旗、位置はどこ国のものでしょう？ 組み合わせてみましょう。



- A ギニア
 B 赤道ギニア
 C ギニアビサウ
 D パプアニューギニア
 E ガイアナ
 F フランス領ギアナ



- ア フランスの海外県で、かつてはフランスの流刑地であったが、1800年代後半にはゴールドラッシュが起こり人口が急増。現在は国立宇宙センターがある。
- イ スペイン語が公用語。住民の多くは、伝統的なカツオ漁や捕鯨に従事している。また、かつては、カカオとコーヒーのプランテーションが広がっていたが、現在は原油生産国となっている。
- ウ イギリス連邦加盟国。英語が公用語である。ギアナ地方に属し、ギアナはインディヘナで「水の多い土地」という意味である。
- エ ポルトガル領ギニアが独立してできた国。いくつかの川が流れる大陸部と島から成る。カシューナッツや落花生が主な輸出品である。
- オ イギリス連邦加盟国。この国の人がギニア人に似ていることから、スペインの探検家がこの国名をつけたと言われている。鉱業とコーヒー、カカオの生産が盛んである。
- カ 旧フランス植民地で、他の植民地に先駆けて1958年国民投票により独立。かつては、バナナ、パイナップル、パーム油などが主な産品だったが、現在は鉱業が主要産業である。

② では、ギニア共和国についての三択クイズです。答えてみましょう。

- A ギニアの首都は？ ① コナクリ ② ヤキグリ ③ シャックリ
 B ギニアの面積は？ ① 日本とだいたい同じ ② 本州とだいたい同じ ③ 北海道とだいたい同じ
 C ギニアの人口は？ ① 日本とだいたい同じ ② 日本の約半分 ③ 日本の約10分の1



P.5のこたえと解説です。

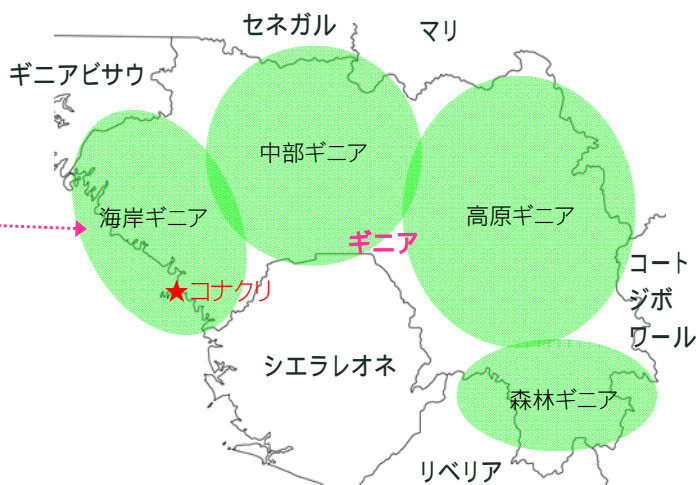


ギニアの概要を知り、ギニアについての関心を高める。

- 1 [A] ギニア B ③ カ [B] 赤道ギニア C ⑤ イ [C] ギニアビサウ A ② エ
 [D] パプアニューギニア D ① オ [E] ガイアナ E ④ ウ [F] フランス領ギアナ F ⑥ ア
- 2 [A] ① コナクリ(Conakry) : フランス植民地時代、ピーナッツ輸送の貿易港として発展しました。
 [B] ② 本州とだいたい同じ : ギニアの面積は24万5,857km²です。
 [C] ① 日本の約10分の1 : ギニアの人口は、約1,000万人(2009年)です。

ギニアという国

国際連合によるアフリカの地域の分類



ギニアは、西アフリカの南西端、大西洋沿岸にあり、マリ、コートジボワール、セネガル、シエラレオネ、リベリア、ギニアビサウの6か国と国境を接しています。西アフリカは、アフリカ大陸の3割近い面積を占め、ギニアやその隣接6か国以外に西サハラ、カメルーン、モーリタニア、ガンビア、ガーナ、ナイジェリア、トーゴ、ベナン、ブルキナファソ、ニジェール、チャドがあり、世界でも最貧国の多い地域です。

ギニアは、その自然条件から、海岸ギニア、中部ギニア、高原ギニア、森林ギニアの4つの地区に分けられます。大西洋に面した沿岸部は熱帯雨林気候、内陸部は乾燥したサバナ気候です。国内には、アフリカの主要な川であるニジェール川とセネガル川の源流があり、乾季の1~4月はほとんど雨が降りませんが、雨季の6~9月は3,000mmを超える雨量があります。

ギニアには、約20の民族が住んでいますが、マリンケ族(約34%)、プル族(約29%)、スूसー族(約17%)が多数を占めます。アフリカの多くの民族は文字を持たないため、さまざまな記録は「グリオ(→P.10)」と呼ばれる語り部によって、歌や楽器の演奏などで語り継がれてきました。そのため、ギニアを含む西アフリカでは、独特のリズムをもつ音楽が栄え、ギニアはジャンベ(→P.10)の発祥の地とも言われています。

国民の多くは農業に従事していますが、ボーキサイト、アルミナ、金、ダイヤモンドなど豊富な鉱物も有しています。

16世紀のアフリカ大陸は、ヨーロッパの本格的な大航海時代の中で、列強の植民地争いの中にもいました。ギニアも例外ではなく、1882年、フランスの植民地になりましたが、国内での抵抗運動が激しく、1958年には「奴隷の豊かさよりは、自由の中の貧困」をスローガンに「ギニア人民革命共和国」として、アフリカのフランス植民地の中では最も早い独立を果たします。その後、ソ連からの支援を得る道を選び、初代大統領セク・トゥーレの社会主義独裁政権が続きます。1984年セク・トゥーレ大統領の死後、国名を「ギニア共和国」と改名し、現在は2010年の透明性の高い大統領選挙で選ばれたアルファ・コンデ氏が大統領となり、民主化プロセスの進展は国際社会において評価されています。



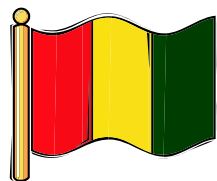
コナクリ

ウィキペディア

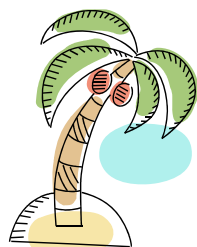
ギニアにまつわるウソ？ホント？クイズ

❓ ギニアについて、どんなイメージを持っていますか？ さて、そのイメージはあっているでしょうか？

① 「ギニア」の由来には諸説あるが、その1つとして、ベルベル語の「黒人たちの土地」を意味すると言われている。



② ギニアの国花は、ヤシである。



③ ギニアでは、ほとんど雨が降らない。



④ ギニアはフランスの植民地だったので、ほとんどの人がカトリック教徒である。



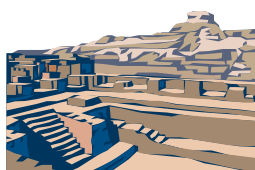
⑤ ギニアの通貨は、セーファーフラン (CFAフラン) である。



⑥ フランスのベルサイユ宮殿の黄金の間に使われた金は、ギニアの産地で採れたものである。



⑦ ギニアには残念ながら、世界遺産はない。



⑧ 西アフリカの伝統的な楽器ジャンベを世界に広めたママディ・ケイタは、ギニア出身である。



⑨ ギニアでは、アフリカの他の国からの難民を受け入れている。





P.7のこたえと解説です。



クイズを通して、ギニアがどのような国か全体像をつかむ。

- 1 **ホント** ベルベル語を由来とする説のほかに、8世紀ごろからニジェール川上域に栄えたギネア (Ghinea)、あるいはそのあと栄えたガーナ (現在のガーナとは異なる) から転嫁したという説もあります。赤道ギニアやギニアビサウと区別するため、首都の名前をつけて「ギニアコナクリ」と呼ばれることもあります。
- 2 **×ウソ** ギニアの国花はイネです。ギニアの食事の基本は、ぶっかけご飯。トマトソースで煮込んだりもします。また、ギニアは、新しい品種の米によって、穀物自給率を大きく高めたという実績ももっています。国花にイネというのは、少し違和感もありますが、ギニアとイネはとても関係が深いのです。
- 3 **×ウソ** 特に雨季には3,000mmを超える雨量があることもあり、ニジェール川、セネガル川、ガンビア川などの水源となっています。「西アフリカの給水塔」と呼ばれることもあり、コナクリは世界屈指の雨の多い首都といわれています。
- 4 **×ウソ** フランスの植民地でしたが、国民の90%がイスラム教徒です。遊牧民フルベ族によって、この地域にイスラム教がもたらされたといわれていますが、特に村落部においては、伝統的な生活習慣も残っており、グリオ (→P.10) や呪術をつかさどる鍛冶師が社会の中で重要な役割を担っています。
- 5 **×ウソ** ギニアはフランス植民地の中で唯一、完全独立の道歩んだ国です。そのため、ギニアビサウ、赤道ギニア、ベニン、ブルキナファソ、コートジボワールなど、フランスフランと連動する「CFAフラン」通貨圏の国が西アフリカ、中央アフリカには10カ国以上ありますが、ギニアでは、自国通貨ギネーフランが流通しています。しかし、もともとはイギリスで印刷されたお札も、何年も新しく印刷されることなく使われているため、真っ黒で擦り切れています。ここにもギニアの経済的な状況があらわれているのです。
- 6 **ホント** ベルサイユ宮殿で使われた金は、ギニアの山地で採れ、ラクダのキャラバン隊でサハラを超えてヨーロッパへ運ばれたものでした。当時のヨーロッパ人は、この金を求めて、中継地であるティンブクトゥ (マリ共和国のニジェール川沿いに位置する砂漠の民トゥアレグ族の都市) を目指しました。現在も、ギニアは資源が豊富で、特にボーキサイトは、オーストラリアに次いで世界第2位の産出量を誇り、世界の埋蔵量の約60%を占めます。
- 7 **×ウソ** ニンバ山巖正自然保護区 (ギニアとコートジボワール) が世界自然遺産として登録されています。鉄鉱石が産出され、熱帯雨林にはチンパンジーやヒキガエルなど多くの固有種が生息しています。しかし、隣接するリベリアが鉄鉱石の発掘をしようとするなど治安はとても悪く、危機遺産に指定されています。
- 8 **ホント** ママディ・ケイタはギニア出身のジャンベ奏者で、キング・オブ・マンディカ (アフリカで最も偉大なドラマー) やジャンベフォラ (ジャンベの神様) と称されます。(→P.16)
- 9 **ホント** 西アフリカ最貧国の1つであるにもかかわらず、ギニアは1990年代約50万人もの難民を生み出したリベリアやシエラレオネから16年間で、難民を受け入れており、彼らは特に森林ギニアで生活しています。そうした西アフリカの地域安定に貢献する一方で、難民への支援が国内の経済成長や民族間問題にも影響を与えています。



ギニアフラン



歌おう！踊ろう！ リズミカル ギニア

❓ 音楽なしでは語れない！ ギニアの暮らしに音楽は欠かせないのです！

次の写真は、ギニアを含む西アフリカの伝統的な楽器です。下の説明文はどの楽器を説明したものでしょう？

A



B



C



D



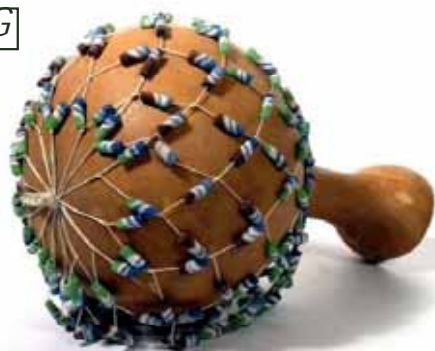
E



F



G



H



 ウィキペディア

- 1 かつては、村のいくつかある御神木からつくられ、御神木に宿る精霊との交渉が行われるなど、西アフリカの人々にとっては単なる楽器ではなく、魂と魂とつなぐ道具でした。
- 2 幻想的なアフリカの音を作り出す21本の弦楽器です。
- 3 木のバチで音を鳴らすと同時にもう一方の手で鉄製のベルを鳴らしてリズムを刻みます。
- 4 西アフリカで生まれた木琴。打楽器でありながら、メロディ楽器でもあります。
- 5 ひょうたんとノコギリの刃でできた鍵盤楽器。3〜4本の鋼鉄でできたノコギリ弦をつま弾きます。
- 6 森林民族の楽器、木の棒を2本使って演奏します。
- 7 大きな中空のひょうたんの周りに植物の種子・豆・ビーズ・貝などを通した網を編んで張り巡らせた打楽器。
- 8 木の枝を加工してつくった棒にひょうたんの縁を切り取った輪っかをはめ込んで作った楽器で、男の子が儀式で使います。



P.9のこたえと解説です。



ギニアの人々の暮らしに欠かせない音楽を通して、ギニアへの関心を高めるとともに、日常的な生活に想いを馳せる。

A バラフォン(Balafone) ④

バラフォン(Balafon)という硬質の木を加工し、それぞれの木板の下にひょうたんをぶらさげて作られています。このひょうたんがスピーカーの役割を果たし、複雑な音の響きを出します。バラフォンがヨーロッパに伝わり、マリリンバが生まれました。

B クリン(Krin) ⑥

木を3方向からくりぬき、3~4種類の音が出るようになっています。

C ワサンバ(Wassanba) ⑧

ひょうたんの輪っかは下にいくほど小さく、上にいくほど大きくなっており、振って輪っかが重なりあうことで音をだします。儀式的時に、男の子たちがみんなで持ってダンスとともに演奏します。

D コラ(Cora) ②

6本の指を使って、弦をつま弾きます。かつて、王宮や王族に仕えるグリオ(↓下段解説)によって演奏されていました。コラ奏者の多くは、歌も歌います。

E ゴンゴマ(Gongoma) ⑤

ギニアのコナクリで生まれた楽器です。歌とともに演奏されます。

F ジャンベ(Djembe) ①

マリinke語では、「ジンベ」「ギンベ」とも呼ばれます。木の幹を切り抜いて作った胴体部分に、現在はヤギの皮が張られています。素手で演奏され、さまざまな音とリズムをつくりませんが、基本は高中低の3つの音です。高度な技術を持つ演奏者は、ジャンベを使って話をするすることができます。

G シェケレ(Shekele) ⑦

ヨルバ族発祥の楽器で、カバサとも呼ばれます。奏法はさまざまで、マラカスのように振り回したり、叩いたりして、音を出し、リズムを取りながら演奏します。

H ドゥヌン(Dounoun) ③

3つの大きさの異なるものがあり、一番大きくて低い音がでるのがドゥヌンです。中くらいのものをサンバン(Sangban)、小さなものをキンシディニ(kinshidini)と呼びます。この3つを総称してドゥヌンバ(dounouba)と呼び、それぞれ異なる役割を持ちます。メロディは、人の声や動物の鳴き声などをまねていることが多いです。



「ギフでジャンベ」ウェブサイト

西アフリカのジャンベ音楽

ジャンベは、西アフリカのマリinke族から生まれた太鼓です。ギニアの他、マリ、コートジボワール、セネガル、ブルキナファソなどで、お祭りの時などには必ず演奏されます。「ジャンベ音楽」とは、このジャンベやドゥヌン、そして歌やダンスが繰り広げられるもので、古来から続く伝統音楽であると同時に、今なお西アフリカだけでなく世界中で愛される現代音楽でもあります。

かつて、ヨーロッパに占領され、意図的に国境がひかれたアフリカの国々には、国境を越えて民族が暮らしています。マリinke族もそのひとつで、彼らは日常的にジャンベ音楽を演奏してきました。特別な行事や儀式的時だけでなく、交友を深める場、大切な仕事をする場、おとなとして認めてもらう通過儀礼の場などでいつも村人が集まり、歌い踊ったのです。

また、文字を持たないアフリカの民族は、グリオ(Griot)という人々が、歌によって歴史を伝えてきました。彼らは歴史家であると同時に、人生のアドバイザーであり、もめごとを解決する仲裁人でもあり、その技術は代々引き継がれていきます。

暮らしの様々な場面でギニアなど西アフリカの人々にとって、音楽はなくてはならないものなのです。



グリオ



ウィキペディア



小さなお子から音楽が身近にある



物は少ないけど家族と愛情はいっぱい

① ギニアの人々はどんな生活をしてるのでしょうか？

P. 11～12の写真は、ギニアの人々の日常の風景です。
写真を見て、どんなことに気づきますか？ 日本と比べてどうですか？ 似てるでしょうか？ 違うでしょうか？
ギニアの人々の暮らしを想像してみましょう。



食事の基本は、「ぶっ
かけご飯」。ピーナッ
ツソースや魚のトマト
ソース、青菜のソース
など、たくさんの種類
があります。



ギニアでは電気やガスなどが手
に入りにくいので、石を並べたり、ギ
ニアがまなどを使っています。ギニア
がまは、火を起こすのが難しいた
め、毎朝お母さんたちは、長い時
間をかけて食事の準備をするので
す。





ギニアは大家族!
兄弟が6~7人いるの
は当たり前です。
5歳の子どもが、小さ
な弟や妹をおんぶし
ている姿もよく見か
けます。

さりげなく巻いた布が、とっても
おしゃれです。



あらゆる場面で
音楽や踊りは欠かせ
ません。
毎日がお祭り??
という感じです。



ギニアでもサッカーは
大人気!!





ちょっとブレイク

～ギニア料理を作ってみよう！～



朝ご飯の定番！ マーガインのつくり方

★材料(2人分)★

魚の干物	2匹
なす	2本
トマト	3個
玉ねぎ	1個
トマトペースト	大さじ3～4
ブイヨン	1個
味の素	適量
トウガラシ	適量
にんにく	適量
ご飯	適量



チキンをのせた豪華バージョン♪

- 1 魚の干物を小さく手でちぎる。
- 2 鍋に油を入れ、なす(半分に切ったもの)を揚げる。
- 3 2のなすをボールにあけ、つぶす。
- 4 ほかのボールに、1の魚、トマトペースト、トマト、ブイヨン、味の素、玉ねぎ、3のなすと水をよく混ぜ合わせる。お好みでにんにくみじん切りや唐辛子をいれる。
- 5 鍋に多めに油をいれ、4の材料をいれて1時間ほどよく煮込む。
- 6 ほかほかご飯の上にぶっかけて完成!!

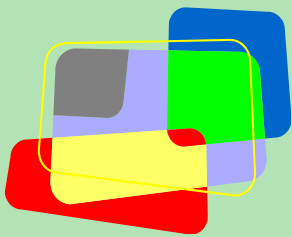


できあがったら、みんなでいただきます～す♪

 岩田奈々

 第2章

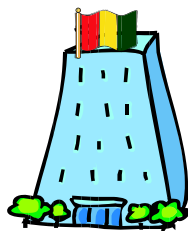
へえ～！ギニアと日本



ギニアと日本 ウソ？ホント？クイズ

① とても遠い国ギニア。日本とのつながりはあるのでしょうか？

① 残念ながら、日本には、ギニア大使館はない。



② 日本との関係が薄いため、残念ながらギニアにおいてODAはほとんど使われていない。



③ ギニアでは、日本の国連大使だった松平康東氏は有名である。



④ ギニアでは、日本などが資金援助して開発してきたネリカ米の導入により、穀物自給率が上がってきている。



⑤ ギニアの国土基本図を製作したのは、日本人である。



⑥ 日本はギニアのインフラ整備に尽力してきたが、教育面での支援はこれからである。



⑦ ギニアで唯一の世界遺産ニンバ山の固有種の研究に日本も関わっている。



⑧ ギニア出身の世界的なジャンベ奏者ママディ・ケイタは、日本にアジア初のジャンベスクールを開校した。



⑨ 日本で猫の鳴き声は「ニャー」だが、ギニアで使われているマリンケ語では猫のことを「ニャンコマン」と言う。





- 1 **×ウソ** 日本は1958年にギニア共和国を承認、1972年に在日大使館を開設しています。また、1976年には、コナクリに日本大使館を開設しています。
- 2 **×ウソ** ユニセフを通じて13万1千帳の蚊帳を無償供与したほか、深井戸の採掘や都市給水システムの改善等、ギニアの人々の暮らしや命をまもるための活動のほか、柔道機材の無償供与、ラジオ・テレビ局番組ソフト等の供与などさまざまな支援を行っています。2008年におけるギニアへの支援援助額では、フランス、アメリカ、イタリア、ドイツに次ぐ5番目の援助国となっています。
- 3 **ホント** フランスから独立したギニアが国連に加盟をしようとした時、世界で最初に加盟を認めたのは日本。ギニアは世界で82番目の国連加盟国になりました。そのため、当時の国連大使松平氏はギニアではとても知られているのです。
- 4 **ホント** ネリカ米は「New Rice for Africa」の略で、アフリカ種とアジア種をかけあわせた米の新種で、生育が早く、高収量で環境適応力にすぐれています。1977年以来の大干ばつで大きな被害を受けたギニアでは、この米の導入に積極的に取り組み、穀物自給率が1994年の61%から2003年は70%まであがっています。ネリカ米は、日本政府と国連開発計画(UNDP)、アフリカ開発銀行(AfDB)、アメリカ国際開発庁(USAID)、国連食糧農業機関(FAO)およびロックフェラー財団の共同支援により、西アフリカで開発されました。
- 5 **ホント** 1958年、ギニアがフランスから独立した時、軍事上の理由からフランスは国づくりの要ともいえる地図をすべて本国に持ち帰ってしまいました。1974年、ギニアのセク・トゥーレ大統領は、日本政府にギニアの国土基本図(地図)の製作を依頼し、その依頼を受けた日本政府は、10億円を投じ、ベテラン測量士本島建三氏が率いる測量隊を送り込み1978年～1983年でギニアの国土基本図を完成させたのです。
- 6 **×ウソ** 日本は、教育面でもギニアを支援しており、これまでに500校以上の学校が日本のODAによって建設されました。
- 7 **ホント** ニンバ山は、ギニア、コートジボワール、リベリアにまたがっています。リベリア側では、鉱物企業の採掘による自然破壊が問題となっていますが、ギニア側は豊富な自然生態系が守られており、チンパンジーや世界唯一胎生のヒキガエルなどが生息しています。日本の京都大学霊長類研究所は、30年以上にわたってチンパンジーの共同研究を行っています。
- 8 **ホント** ママディ・ケイタ(Mamady Keïta)は、ギニアのバランデューク出身で王族の家系を持つジャンベ奏者で、キング・オブ・マンディカ(アフリカで最も偉大なドラマー)やジャンベフォラ(ジャンベの神様)と称されるなど、ジャンベの第一人者です。7歳からジャンベの演奏を始め、14歳にはギニア国立ジョリバ舞踏団に入り、首席ジャンベ奏者として各国で演奏を行いました。1994年の夏、日本ツアーを行ったことをきっかけに、2004年、鹿児島県の三島村にアジア初のジャンベスクール、みしまジャンベスクールを開校しました。
- 9 **ホント** 地域によっては違うところもありますが、マリンケ語では「ニャンコマン」と言います。スス語でも「ニャーリー」と言います。



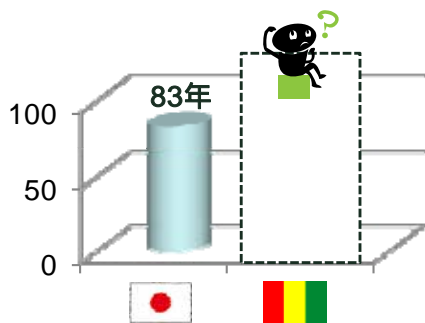
みしまジャンベスクール

データで比べるギニアと日本

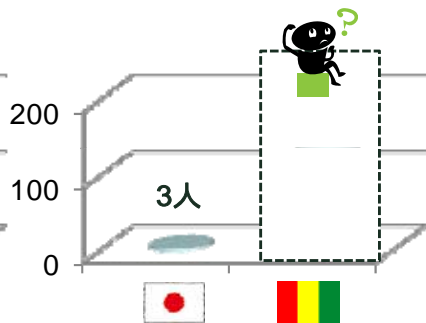
① 日本と比較することで、同じ地球人として、ギニアの現実を学びましょう。



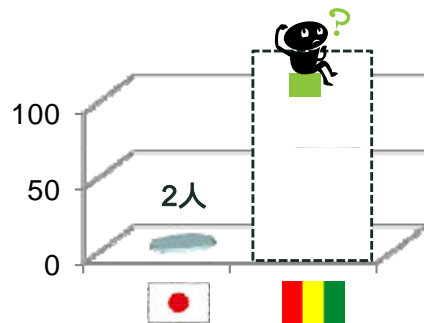
① さて、ここに日本の現在の状況をあらわしたデータがあります。同じ項目がギニアでは、どのような状況だと思いますか？想像してグラフ等を書きいれてみましょう。



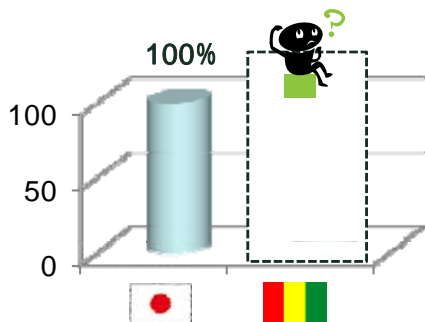
出生時の平均余命



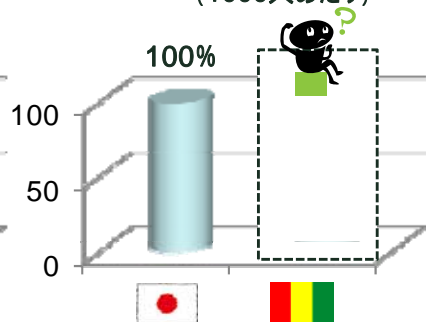
5歳未満の子どもの死亡率 (1000人あたり)



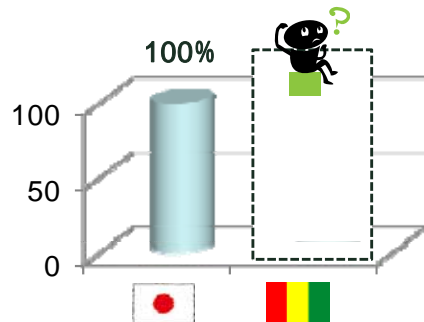
乳児 (1歳未満) 死亡率 (1000人あたり)



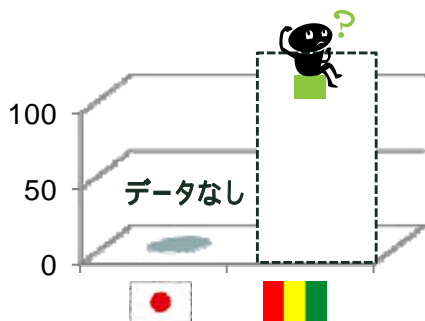
改善された水源を利用する人の比率



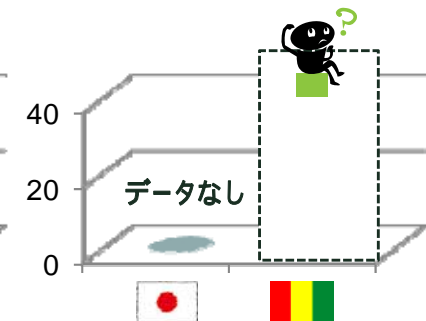
適切な衛生施設を利用する人の比率



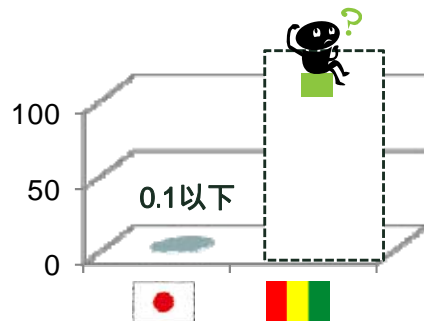
成人の総識字率



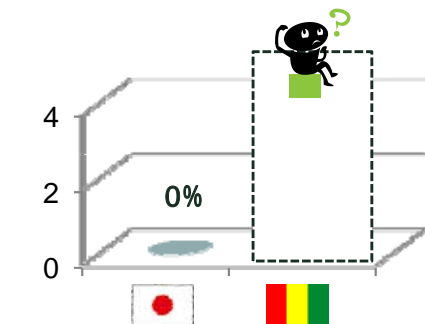
国際貧困ライン (1日1.25米ドル) で暮らす人の比率



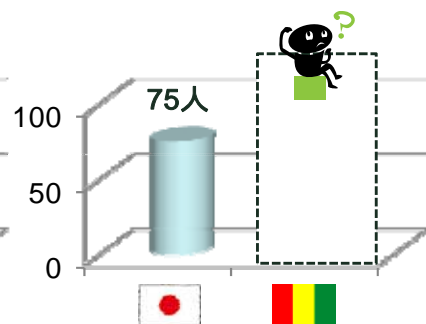
児童労働の比率



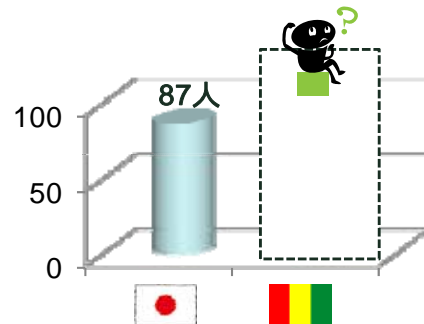
HIVと共に生きる人 (15歳~49歳) の推定数 (1000人あたり)



人口の年間増加率



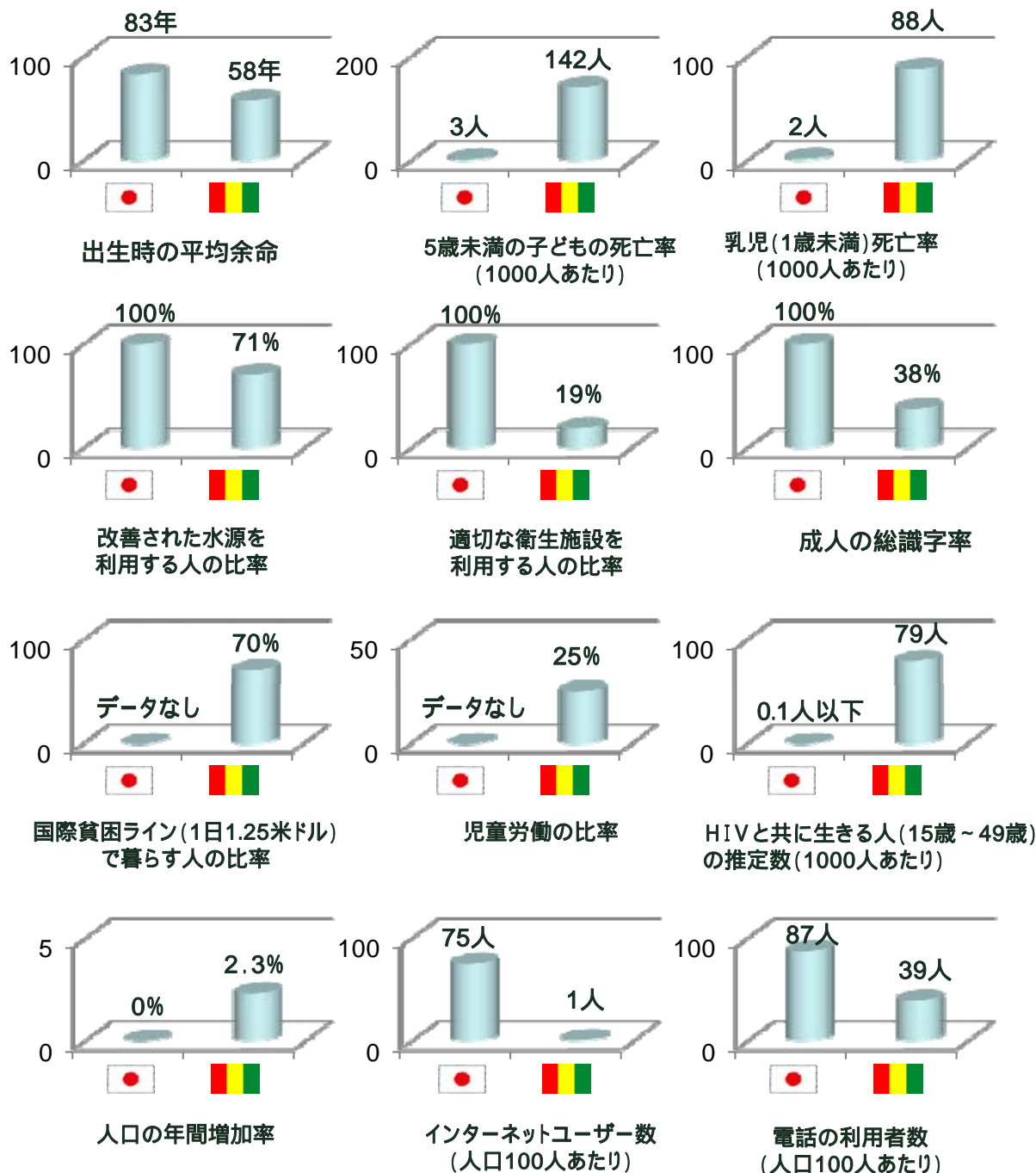
インターネットユーザー数 (人口100人あたり)



電話の利用者数 (人口100人あたり)

② これらの数字を見て、みなさんはどのようなことを感じましたか？自由に話し合ってみましょう。

世界子ども白書2011



ギニアの抱える課題

1958年ギニアが独立した後、宗主国であったフランスは、ギニアへの援助をすべて打ち切り、公共施設や道路を破壊、公共施設にあった備品や国の重要書類などはすべてフランス本土に持ち帰ってしまいました。また、ギニア国内の汚職、政治的不安定、不透明な予算システムなどのために外国からの投資も遅れ、2002年以降、ギニアの年平均の経済成長率は目標の5%に対し、2.3%に留まり、インフレ率は5.4%から53.6% (2005年)へと上昇しました。ギニアでは労働者の大半が農・水産業といった一次産業に従事しており、豊かな雨量や肥沃な土壌を背景に、高い開発潜在力を有するものの、前近代的技術から脱却できず、また近隣諸国の混乱による国境周辺地域の荒廃もあって、低い生産性に留まっています。また、ボーキサイト、金、ダイヤモンド等を産出する鉱物資源大国にもかかわらず、独立後の社会主義体制の後遺症、インフラ整備の遅れなどから、必ずしも全体的な経済社会開発にはつながっていません。

2007年の世界銀行の統計によると、179か国中167位という世界でも最貧国の1つになり、人口の約70%が貧困層に属しています。特に大きな問題としては、法の未整備、汚職政治、不十分なインフラ (電気、水道、道路)、非識字率の高さなどが挙げられますが、2010年に透明性と信頼性のある大統領選挙が行われ、国内の状況も外国との関係も改善されつつあります。



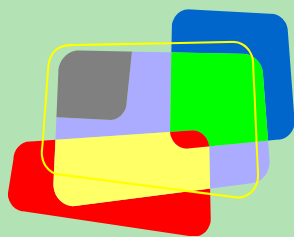
~ ギニアのステキな人々 ~





第3章

一緒に考えよう！こんな課題



ギニアからアフリカを考える！地球の課題を考える！

① ギニアが抱えている課題は、アフリカ全体の課題でもあり、地球の課題でもあります。



1 次の地図の色が付いているところは何を表わしているものだと思いますか？



2 では、次の資料を読みましょう。



現在、アフリカでは、マラリアの治療を受けられないために、1日に3,000人以上の子どもたちが命を落としています。マラリアに感染して適切な治療を受けられないと、乳幼児の90%は亡くなってしまいます。マラリアは、マラリア原虫による感染症で、マラリア原虫を持つ蚊にさされることで感染します。西アフリカ14カ国すべてで感染リスクが報告されていますが、ギニアでも5歳未満児の死亡原因の第1位を占めています。

一方で、医療設備及び医療技術のレベルは低く、薬剤不足も深刻です。また、衛生概念が日本と大きく異なります。市場や路地の屋台で販売されている飲食物は清潔とは言えず、下痢や嘔吐の原因となることが頻繁です。

マラリアは、HIV／エイズ、結核とならぶ世界3大感染症の1つで、その広がり方や対策に必要な経費の大きさから、1つの国だけでは解決できる問題ではなく、また、開発途上国にとっては、健康上だけでなく貧困など経済的な影響も大きく、みんなで解決していかなければいけない地球規模の課題の一つになっています。

3 さて、マラリアの課題はほんの一例です。P.17の資料を見てみましょう。また、P.22の資料「ギニアの鉄鉱石に注目する世界の企業」も読んでみましょう。ギニアは他にも様々な課題を抱えています。そして、ギニアが抱えている課題は、アフリカ全体の課題でもあり、地球全体で考え、取り組んでいかなければいけない課題でもあります。日本は、こうした課題についてどんなことができると思いますか？グループで、ギニアが抱える課題を1つ取り上げ、その解決に向けてどんなことができるか、模造紙にまとめてみましょう。

4 グループで考えた取り組みを全員で共有しましょう。

5 他のグループの発表を聞いてみていかがですか？もしかしたら、取り上げた課題は違っているのに、取り組みは似ていたかもしれません。たくさんある課題はつながっているかもしれませんし、1つの取り組みによって、いくつかの課題が解決されるかもしれません。その他、取り組みを考えた過程で感じたこと、発表を聞いて気づいたことなど、自由に話し合ってみましょう。



1 マラリア感染の危険な地域を表した地図です。

北アフリカ以外のアフリカの国々がいずれも危険地域であることがわかります。マラリアは毎年100万人を超える人々の命を奪っています。命を落とす人々の80%以上はサハラ以南のアフリカの人々で、大半は5歳未満の子どもたち。アフリカでは今も、30秒に1人、子どもがマラリアで命を落としているのです。

ギニアの公衆衛生の問題の中でも、マラリアは特に重要な問題で、4つの地域のうち、2つの地域で特に深刻な問題になっています。医療環境が十分に整備されていないギニアでは約6人に1人の子どもが5歳になる前に風邪等の病気で命を失い、そのうち約30%の子ども達がマラリアのために命を失っています。毎日約55人の5歳以下の子ども達がマラリアのために命を失っているという計算になります。



ギニアの鉄鉱石に注目する世界の企業

ギニアは、ボーキサイト、アルミナ、金など、豊かな鉱物資源を有します。そして最近特に注目を浴びているのが鉄鉱石。鉄鉱石の需要が急増し、安定した供給を確保するために、世界の企業が、ギニアをはじめとする西アフリカの優良な鉄鉱石に目をつけ始めたのです。こうした企業からの投資をギニア政府は歓迎しています。地下資源の採掘に当たる企業が、道路・鉄道・発電所など周辺のインフラ整備を担ってくれ、地域住民の雇用も見込まれるからです。

しかし、資源はいつか枯渇するものです。輸出を資源だけに頼れば、その価格変動によって経済全体が左右されてしまいます。また、資源輸出がその国の通貨価値を引き上げ、農産物など他の産業の妨げとなるというジレンマも生まれます。さらには、ギニアの隣国シエラレオネの「ブラッド・ダイヤモンド」のように、資源が政情不安をあおることさえあるのです。

今後、ギニアが豊富な資源を活用して安定した社会が築けるかどうかは、ギニアという国自身の責任と、開発に関わる国の責任にゆだねられているのです。

日本のアフリカ支援 重点的項目

日本は、2008年横浜で開催されたTICADIV (第4回アフリカ開発会議)において、ギニアを含むアフリカ諸国に対して、2012年までにODA (政府開発援助) を倍増し、特に次の支援を重点的に行っていくと表明しています。

アフリカがつながる広域インフラ整備支援

広域道路網の整備や安定的な電力供給のための電力インフラの整備・維持管理能力の強化など

農業・飲料

コメの生産量倍増を含め、灌漑施設の整備や品種改良、農業指導員の育成など

アフリカの在来種とアジア種の稲を交配させた新品種ネリカ米の開発支援 (→P.16)

貿易・投資・観光の促進

日本の対アフリカ投資を倍増させるための「アフリカ投資倍増支援基金」の創設

コミュニティ開発

一村一品運動…各地域の資源を活用しながら、生産・加工技術の向上を支援し、地域の特産品づくりに協力。

アフリカン・ミレニアム・ビレッジ…人間の安全保障基金などを通じて食糧事情や保健・衛生、学校教育など、人間の基本的な生活全般に関わることを支援

教育と人材育成

アフリカに小中学校合わせて1000校 (教室数5,500) を建設。理数科教員の能力向上や「みんなの学校」と呼ばれる地域住民の参画を通じて学校運営能力向上などを支援

保健・医療

世界エイズ・結核・マラリア対策基金への算出、保健・医療人材育成、母子保健向上の支援など

アフリカの水開発

650万人に安全な飲料水を給水するための給水施設の整備、給水分野の人材育成、貴重な水を無駄にしないための「水の防衛隊」派遣など

気候変動対策

CO₂排出削減等気候変動対策に取り組む国への支援など

ギニアの開発重点分野としては、①グッド・ガバナンス及び公務員の能力向上②貧困層への就職支援及び適切な給与支払い③食料、水、教育、保健へのアクセス向上が貧困削減のための開発として位置づけられています。そうしたニーズに合わせ、日本政府もNGOも様々な形で、ギニアへの支援活動を展開しています。

日本政府はユニセフを通じて、13万1千帳の蚊帳をギニアへ無償供与しました。マラリアは夜間のみ吸血するハマダラ蚊によって媒介される病気ですから、蚊帳を使用することでマラリア感染を防止することが可能になり、多くの子どもたちの命を守る盾となります。

この他、在ギニア日本国大使館では、飲料水の確保が困難な農村部での深井戸の削掘や、人口増加に伴い常に水不足が問題とされる都市給水システムの改善等、水分野を始めとして、ギニアの人々の暮らし、生命を守るために、ODA（政府開発援助）を用いて様々な支援活動を実施しています。

一方、ギニアの課題に取り組むNGOサパは、深井戸の設置によるギニアウオーム病の予防活動、乳幼児への栄養食の基礎知識を伝えたり、実地の食事作りを指導、現地産の蚊帳の配布・貸与、農薬蚊帳の配布に対する反対キャンペーンの展開、草葺きの識字教室、小学校の建設活動などを行っています。



ちょっとブレイク

~ 1つあれば便利！シアバター ~



シアバターはシアの木の子実から作られ、食用や薬として用いられるほか、石鹸やクリームなどにも配合されます。アフリカでは、伝統的に国内で消費されてきましたが、近年は重要な輸出品目となり、シアバター作りは女性の自立も支援しています。

ギニアではカリテと呼ばれています。

樹齢200年にもおよぶカリテの木（シアの木）は、西アフリカのサバンナのみで原生し、花をつけるまでに15年から20年かかり、実として収穫できるようになるまでには早くも25年、長ければ40年もかかると言われています。



野生のシアの木

6、7月頃開花し、緑色の実を結び、熟した実は大地に落下します。この落下した実は、村の女性たちが拾って持ち帰り、火にかけます。沸騰させることで殻が取り除かれた実を、その後、灼熱の太陽の下で乾燥させ、すり潰し、何時間も火にかけ、圧搾して、油脂（バター）を取り出します。この油脂がシアバターです。化学精製されていない未精製のシアバターには有効成分が豊富に含まれ、アフリカでは古くから、神からの贈り物として親しまれています。

シアバターは高い栄養価を有するため現地では食用油脂としても使われますが、肌に塗ったり、髪に塗ったり、ジャンベに塗ったり...と万能の薬としてアフリカではみんなが普通に使っています。



シアの実(左)と
シアバター



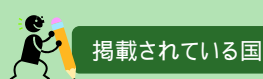
第4章

そして未来へ

P.26の「世界各国からの援助・支援」については、2012年作成教材に当該国の他、下記の国の写真とエピソードが掲載されています。




教材



掲載されている国


アイスランド・キューバ・スウェーデン・ブルンジ	アンゴラ・インド・オーストラリア・英国・エチオピア・エルサルバドル・中国・ポーランド
アイルランド・カタール・グアテマラ・トンガ	アメリカ・ウガンダ・カザフスタン・ベトナム・モロッコ
アルメニア・コンゴ民主共和国・シンガポール・ドイツ	アゼルバイジャン・エジプト・カナダ・カンボジア・スイス・タイ・バプアニューギニア
アルゼンチン・エクアドル・ツバル・バングラデシュ	イタリア・インドネシア・サウジアラビア・チュニジア・パナマ・ホンジュラス・マーシャル諸島
オーストリア・ソロモン諸島・ブータン・ブルネイ	ウズベキスタン・ガボン・ジブチ・スリランカ・デンマーク・ベリーズ・ベルギー
イエメン・ギリシャ・パラオ	キルギス・ノルウェー・パキスタン・フィリピン・ブルガリア・マリ・メキシコ
チェコ・ナイジェリア・マダガスカル	オランダ・セネガル・大韓民国・ドミニカ・ネパール・ボスニアヘルツェゴビナ・ミクロネシア・リトアニア・ルワンダ・ロシア
ギニア・クロアチア・コスタリカ・サモア・タンザニア	イラン・ガーナ・フィンランド・フランス・ベナン・マレーシア・南アフリカ
ウクライナ・ザンビア・モーリタニア	グルジア・スペイン・トルコ・ブルキナファソ・ベネズエラ・ポルトガル・モンゴル
ジンバブエ・ニカラグア・ペルー・ルーマニア	ケニア・スーダン・ニュージーランド・ヨルダン・ラオス

未来を語ろう！～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～

 2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災が発生。津波により多くの方たちが犠牲になり、多くの街が壊滅しました。この災害で、私たちが学んだことは...?

- ① 3.11の大震災。信じられないような大きな被害を受け、いままで「あたり前」と思っていたことがあたり前でなくなった瞬間でした。みなさんは、どんなことを思いましたか？まずは自由に話し合ってみましょう。



 東日本大震災写真保存プロジェクト





- ② 発災直後から、多くの支援、援助が世界中から寄せられました。また、日本人のモラルの素晴らしさが評価されたという報道も流れました。P.26～27の資料を見て、どんなことを感じますか？

- ③ 『PRAYFORJAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』（P.27）の中に、こんなメールが紹介されていました。



未来の歴史の教科書に「この大地震で壊滅的な被害を受けたが、日本は見事に立ち直っていった。」というふうに書かれていてほしいです。

さて、みなさんはどんなふうに書かれていてほしいと思いますか？

-  日本はどうなっていたいでしょう？
-  みなさんの住む地域はどうなっていたいでしょう？
-  日本は国際社会の中でどんな存在でありたいでしょう？
-  そして、世界の国々、この地球はどんなふうになっていて欲しいでしょう？

そうしたことを踏まえ、未来の教科書「2011年3月11日14時46分18秒東日本大震災が発生し、日本は壊滅的な被害を受けました。」の続きを考えてみましょう。

- ④ それぞれが考えた教科書を、みんなで読みあってみましょう。
- ⑤ さて、みなさんが考えた未来の地球、未来の日本、未来の地域を創るために、今、私たちにできることは何でしょう？ グループで話し合ってみましょう。

世界各国からの援助・支援

派遣された救助チーム
専門家チーム

24カ国/地域
+ 5機関

派遣された人数
1,200名以上

(11月1日現在)

在外公館で受け付けた
義捐金総額

約84億
5,000万円

(9月15日現在)

人的支援・物資支援寄
付金等の支援の申し出
(支援意図の表明)

163カ国/地域
+ 43国際機関

(11月1日現在)

外国政府等からの援助
物資・寄付金の提供

126カ国/地域
国際機関
総額175億円以上

(11月1日現在)

フィンランド

3月18・19日、雪の中、街頭で募金活動が実施されました。



クロアチア

芸術アカデミーの向かいの壁に、若者有志が作成した「オシエク市は日本人々と共にいます」と記された日本国旗の絵が掲げられました。



フランス

4月10日に行われたパリマラソンのコース沿道に、日本国旗と被災地応援メッセージが掲げられました。



イラン

4月15日、東北在住経験のあるイラン人女性が自宅で行ったチャリティイベントでの寄せ書き。



コスタリカ

5月6日、2009年のコスタリカ大地震で被災したADEパイリンガル高校の生徒が千羽鶴を折る日本の習慣を自分たちで調べ、被災した子供たちを元気づけたいという想いをこめて折りました。

ギニア

3月23日、市立マハトマ・ガンディ学院の生徒・教員約80名が日本大使館を訪問し、スピーチと詩の朗読を行いました。



マレーシア

スリ・ダスミシュ学校の生徒が、日本大使館に手作りのメッセージカードを託しました。



南アフリカ

3月27日、ヨハネスブルグでの募金活動「AID 4 JAPAN South Africa」での黙とう。

ベナン

「日本は伝説的な援助国で、これまでベナンに対して寛大な経済・技術協力をしてくれた。ベナンの発展は日本のおかげである。そのような日本のために何かしたいとの思いをベナン人すべてが抱くのは自然である。



ガーナ

首都アクラの一部を統括する最高位首長(伝統的権威)が、被災者のため、伝統的な様式による特別な祈りの儀式を実施しました。

タンザニア

4月27日、ダルエスサラーム市キガンボニ文化センターの児童(ほとんどが孤児)が、お見舞いのメッセージと絵を日本大使館に送付しました。



南アフリカ救援隊
3月19日宮城県名取市での活動



ここに紹介した活動はほんの一部です。他にも多くの活動・支援がありますので、下記のウェブサイトを見てみましょう。

心が温くなるメール ~ 『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』より~

2011年3月11日14時58分、ツイッターに「prayforjapan(日本のために祈る)」という投稿が届きました。そしてそれ以降、何十万というメッセージが世界中から次々に寄せられました。震災時、一時避難所に避難していた大学生が、そのメッセージをまとめたウェブサイトを立ち上げました。そこには、海外からのメッセージの他に、日本国内で起きた心温まるエピソードも寄せられました。そうしたメッセージやエピソードは「日本の財産である」と、1冊の本にまとめられています。



東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう!」と。たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^^)



物が散乱しているスーパーで、落ちていたものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とっくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパン配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできること見つけて実践している人に感動。心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。



バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。



昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたいらしい。「日本人でしょう? 日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。」国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。



避難所で4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。



亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」。被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。



M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしてくちゃ。



誰かに頑張ってもらいたいと願うなら、100回「頑張れ」と言うよりも、自分が1回頑張った方が伝わる。私たちが、頑張ろう。



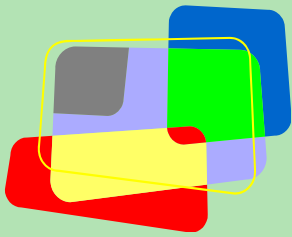
世界各国から勇敢なレスキューチームが東北の被災地へ赴き、危険を顧みずたくさんの人々を救ってくれました。彼らの力強く、そして温かなサポートに心からの感謝を贈りたいと思います。本当にどうもありがとう!!



日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。

国連からのコメント

参 考 资 料



目で見るギニア




他のアフリカの国と同じように、1958年にフランスから独立した時にこの赤、黄、緑三色の国旗を使用しました。赤い色は労働、犠牲の精神、また、独立運動のために流された血を表し、黄色は正義、鉱物の資源、または富と太陽、緑は農業、連帯、または密林と葉を表します。

人口 (2009年)


 10,069,000人



 127,156,000人



面積

 245,857km²
(本州とほぼ同じ)

 377,947km²



気候帯



熱帯サバナ気候
熱帯モンスーン気候

宗教

イスラム教 伝統的宗教
キリスト教

通貨



ギニア・フラン

民族 グループ

マリンケ プル
スースー等 20あまり

言語

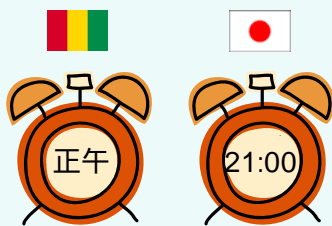


フランス語
各民族語(マリンケ
プル スースー等)



首都
コナクリ

日本との時差
-9時間



在留邦人数


42人 (2009年10月現在)



在日当該国人数

262人 (2010年 法務省
外国人登録者数)



 国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken)、『世界の国旗と国章大図鑑』苅安望編著(平凡社) 面積・首都・宗教・民族グループ・言語・通貨・在留邦人数:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 在日当該国人数:法務省ウェブサイト「登録外国人統計統計表」 人口:世界子供白書2011(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計2011」 気候帯:外務省ウェブサイト「探検しようみんなの地球」 日本との時差:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken)

主要産業

(農)米 キャッサバ
(鉱)ボーキサイド アルミナ ダイヤモンド



日本との
貿易主要品目



水産物 ダイヤモンド



金属 機械

一人あたりのGNI (2009年)



370米ドル



37,870米ドル



5歳未満児の死亡者数 (2009年)
(出生1000人あたり)



142人



3人

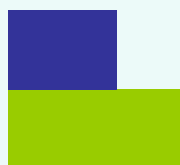
出生時の平均余命
(2009年)



58年



83年



人口増加率
(2000～2009年)



2.3%



0.0%



都市人口の比率
(2009年)



35%



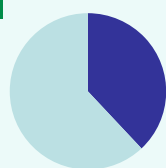
67%



成人の総識字率
(2005～2008年)



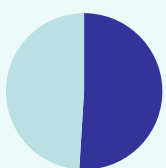
38%



初等教育
純就学/出席率
(2005～2009年)



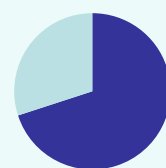
51%



1日1.25米ドル未満で
暮らす人の比率
(1994～2008年)



70%



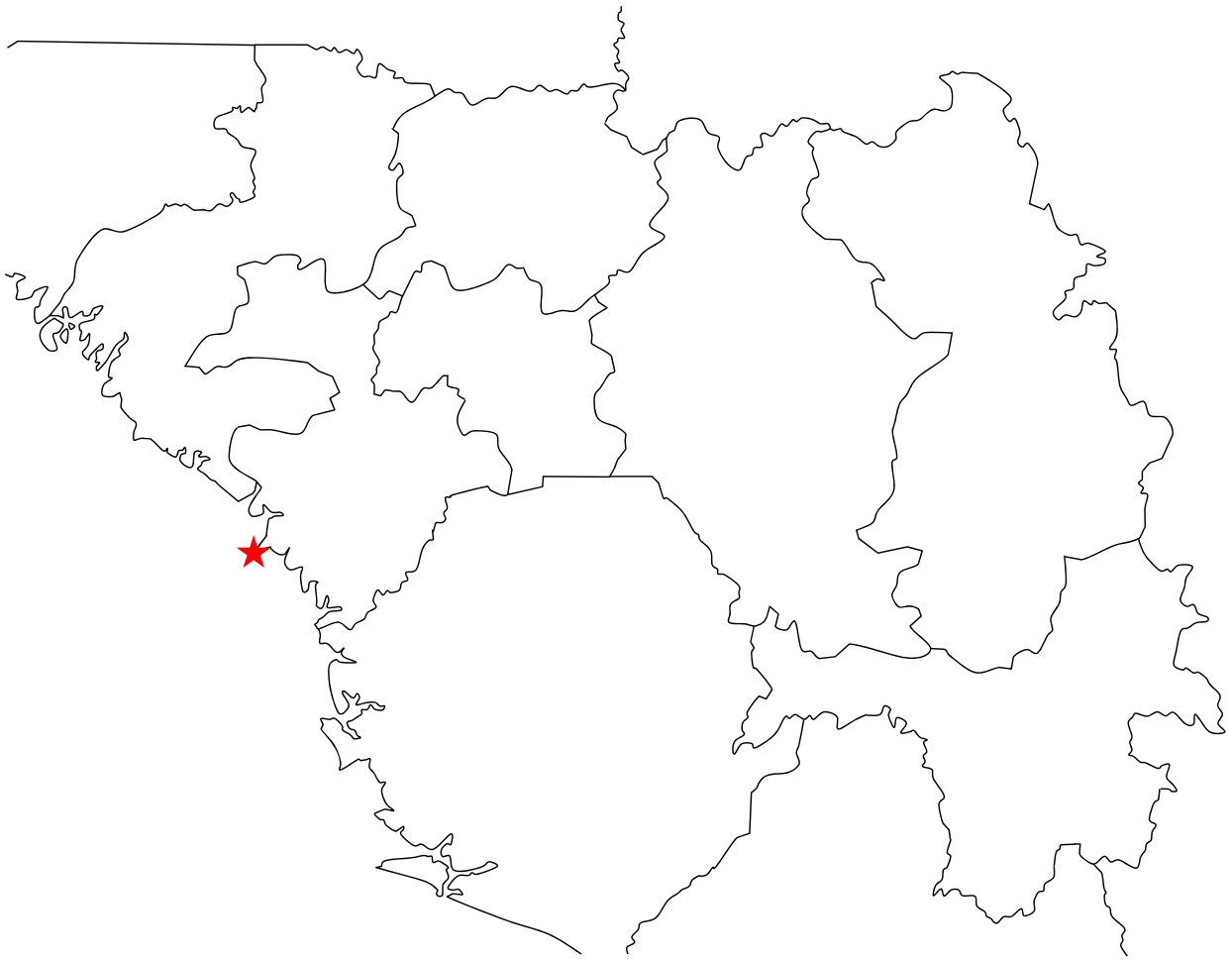
主要産業・日本との貿易主要品目：外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・人口増加率・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率・1日1.25米ドル未満で暮らす人の比率：世界子供白書2011(ユニセフ)

ギニア地図



アフリカ





アフリカ





参考文献・データ等の出典

外務省ウェブサイト

「各国地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

「探検しよう! みんなの地球」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>

「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/episode.html>

「世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)」

http://www.flickr.com/photos/mofaj_tohoku/collections/

総務省統計局ウェブサイト「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>

在ギニア日本大使館 ウェブサイト

http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/africa/pdfs/kanko_guinea.pdf

公益財団法人日本ユニセフ協会ウェブサイト『世界子ども白書2011』

<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>

FRAFINA BLOG <http://farafina.seesaa.net/article/131101317.html>

特定非営利活動法人 日本ギニアコナクリ国際交流協会 ウェブサイト

<http://japanguinea.net/japanguinea>

特定非営利活動法人サパ ウェブサイト <http://www.npo-supa.com/index.html>

『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』 prayforjapan.jp編 講談社

『観光コースでない アフリカ大陸西海岸』 桃井和馬著 高文研

ご協力いただいた方【敬称略】

岩田奈々





2011年度教材作成チーム

碧南市 犬山市 あま市 長久手市 扶桑町
特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
公益財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 **ギニア共和国** 

2012年3月

**発行
編集**

公益財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-7904 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社



